

お盆のご準備はお済みですか？



そもそも
お盆って何を
するの？



お盆とは旧暦の7月15日を中心に行われる「先祖供養」儀式の事で、正式名称は「盂蘭盆会」（うらぼんえ）と言います。「ご先祖様があの世から帰ってきて家族とひと時を過ごし、再びあの世に帰っていく」という意味を持つ、1年に1度の期間を指します。

迎え火



送り火

自宅に仏様を迎える準備（精霊棚）をしておき、提灯を持ってお墓参りをし、ろうそくに火を灯して墓前に線香を供えます。その火を提灯に移して持ち帰り、家の精霊棚に移し線香を供えてから、玄関前で苧殻、赤松等に火をつけ合掌します。

仏壇に線香を供え、その火を提灯に移してお墓に行き、ろうそくに火を灯して線香を供えます。自宅でも線香を供え、最後に玄関前で迎え火と同様に送り火を焚きます。これを合図に、ご先祖様はあの世にお帰りになります。

※上記は昔のままの、丁寧な手順を紹介しました。ここまでやるのは難しいですね。
それでも、せめて迎え火・送り火はきちんと焚いてご先祖様を供養致しましょう。

《お盆用品ご用意確認シート》

<input type="checkbox"/> 焚烙 (ほうろく) たいまつ	焚烙は火皿とも言い、たいまつを置いて使用します。たいまつは迎え火、送り火として最低2束は必要です。
<input type="checkbox"/> 盆飾り祭壇	葬儀後に使用した木製で3尺3段程度のもの。平台、小机でも代用できます。宗派ごとの掛軸もお飾りしましょう。
<input type="checkbox"/> 盆提灯	白紋天・・・今年限りのもので、葬家で用意します。 <input type="checkbox"/> 新盆提灯 <input type="checkbox"/> 盆提灯 絵柄のついたものや、家紋入り等。子供や親戚が贈ります。毎年飾りましょう。パンフレットをご覧下さい。
<input type="checkbox"/> 御供物	
<input type="checkbox"/>	果物、和菓子、季節の作物、故人の好物など。靈供膳もご用意します。



馬や牛に見立てたきゅうりとナスの飾り物のこと、先祖の靈がそれに乗って帰ってくるとされています。馬には、早く帰って来てほしい、牛にはゆっくり帰って行ってほしい、たくさんお土産を持たせられる、等の家族の気持ちが込められています。



ヨイナムナム

いつでもお気軽にお問合せください **0120-417676**
事前相談・ホール見学隨時受付中



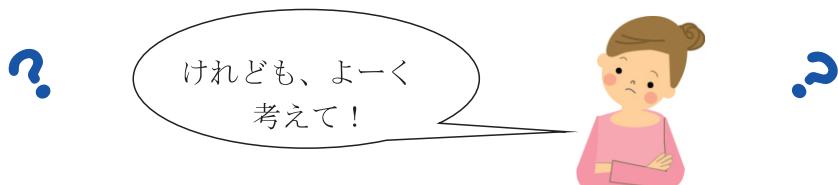
「海洋散骨」という選択

「人が亡くなったら、火葬にし遺骨はお墓に埋葬する」

最近は必ずしも上記のやり方が全て、ではなくなりました。寺離れも進み「檀家になる」事への疑問も、若い世代では増えつつあります。墓地も「家ごと」であったものから変化し、自身の代で墓じまいをしたり 永代供養を選ばれる方も随分増加しました。宗教観の変化・家の概念の喪失など、その背景にあるものは様々です。

最近では海洋散骨に関するお問い合わせも多くなりました。

「人は皆、海から生まれたのだから、その海に、自然に還る」という考え方が、暗い墓地の中に眠るよりも、イメージが良いからかもしれません。ミックホールでも、「海洋散骨」のお取次ぎを承っておりますので、どうぞご相談下さい。

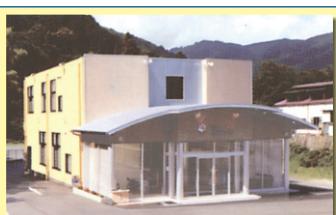


もしもお身内から、「私のお骨は、海に散骨してくれればいいから」と言われたら、貴方はどう感じますか？「うん、わかった、そうするね」と答えられる方は少ないでしょう。散骨してしまうと、遺骨をお手元に戻す事は不可能です。やっぱり普通に墓地へ埋葬して、機会のあるごとにお参りに来たかった、そう思ってももうご遺骨はお手元に戻って来ません。ご遺骨の供養に関しては、「遺された人の気持ち」も大切なことです。散骨を希望するお気持ちがあったら、独断で進めるのではなく、周りの方のお心にも思いを馳せて下さい。これは事後に後悔する事がないようにする為に、大切な事なのです。

いつでもお気軽にお問合せください ☎ 0120-417676



ミック函南ホール
田方郡函南町間宮602



ミックセレモニー伊豆ホール
伊豆市柳瀬360-1



ミック大仁ホール
伊豆の国市田京38-1



ファミック修善寺
伊豆市瓜生野125-2